

<安全で安心して住めるまちに、防犯設備士の力で>

NPO 法人福井県防犯設備協会 理事長

池端 義雄



<NPO法人福井県防犯設備協会概要>

■設立目的

福井県民に対して、地域安全のための支援、防犯に強い住環境の整備促進事業などを行い、安全で安心なまちづくりに寄与することを目的とする。

■History

- ・ 2005年4月 福井県防犯設備協会設立

福井県警察官同伴で各地区を回り防犯診断や、公民館等をお借りし防犯実践塾を開始しました。



- ・ 2008年4月 法人化(参与 福井県警察本部・福井県防犯協会・福井県)
特定非営利活動法人福井県防犯設備協会としました。
- ・ 2008年～2010年 犯罪に強い住環境の整備促進事業開始
防犯ドクター制度とし、防犯アドバイザー委嘱式を開催し、福井県警察本部にて警察本部長より直接、委嘱状を頂きました。
3年間で防犯診断7863世帯、防犯講習35290名に対し実施し、無締まり等が減り、住居侵入犯罪が激減しました。各県の設備協会からも視察において頂き評価も頂きました。
- ・ 2009年8月 福井県警察本部による自転車盗難防止ネットワーク会議開始
参加協力をしました。
- ・ 2010年9月 「コンビニ強盗」緊急対策会議開始
福井県コンビニエンスストア等防犯協会様による会議に参画し、カウンター防護壁を考案しました。
- ・ 2011年4月 防犯モデルマンション、モデル駐車場認定制度 開始
現在も実施中です。

- ・ 2011年5月 生活安全寸劇開始
住宅防犯に関する防犯劇を子供たち中心に、公民館等で開催しました。
- ・ 2011年5月 防犯ドクター見回り隊実施
青色回転灯パトロール車13台登録認定を頂き、夜間のパトロールを開始しました。
- ・ 2014年5月 警察官等に対する住宅防犯実地教養講座開始
3年間で約1200名に対し実施しました。



- ・ 2015年 福井市民活動基金助成にて防犯講習
23会場にて実施しました。
- ・ 2019年 街頭防犯カメラ設置に関するガイドライン策定
会員による協力金で作成しました。
- ・ 2021年 福井県警様より防犯設備士を受験
1名受験し合格しました。
- ・ 2022年 福井県警様より防犯設備士を受験
13名受験し全員合格しました。

<現各会議と役職>

- ・ 福井県安全安心まちづくり推進会議
委員
福井県知事・福井県市長会会長、福井県警察本部長、福井地方検察庁検事正、福井県防犯協会会長、福井県警備業協会会長、福井県教育委員会教育長を始め約22名の方々と「安全・安心ふくいプログラム」等を策定し会議を行っています。
- ・ 公益社団法人福井県防犯協会
理事
福井県知事が会長となり、年間の事業計画を検討し実施しています。
防犯に関する知識及び思想の普及を図るための広報啓発「地域安全のひろば」の開催に参画し防犯意識高揚促進を図っています。
モデルマンション・モデル駐車場の審査を行っています。
- ・ 福井県警察本部生活安全企画課との連携
防犯カメラ設置及び運用・管理の講演や、設置の為の防犯診断・設置アドバイス・地域環境からの場所の選定などを行っています。

<表彰>

1,平成21年5月21日

表彰状

社団法人福井県防犯協会会長(知事)

福井県警察本部長警視長

(連名表彰)



2,平成25年11月15日

感謝状

福井県警察本部長



3,平成28年6月14日

感謝状

公益社団法人 日本防犯設備協会 会長



4,平成28年7月1日

感謝状

中部管区警察局長



5,平成29年9月28日

表彰状

中部管区警察局長

中部防犯協会連絡協議会長

(連名表彰)



<福井県の特徴>

■食

福井県は越前海岸や奥越の山と、海や山が近く、豊かな自然や景観に恵まれています。

福井県発祥のコシヒカリをはじめ、新しく開発したいちほまれや、「越前ガニ」をはじめ、里・海・山の幸、地酒やおろしそば、梅干し、鯖のへしことといった食文化など、枚挙にいとまがありません。

■地域のつながり

福井県は三世代同居・近居率が高く、住民同士のコミュニケーションも活発です。

子供や高齢者の見守り、集落活動や行事などに協力するなど、家庭・地域のつながりが、しっかりと残されています。しかし、三世代同居率は徐々に低下し、核家族化や単身世帯化がすすんでいて、集落の高齢化・過疎化が懸念されています。